

## 住みやすさ、地域への愛着についての満足意識について

### 実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
企画室	2009年04月15日から 2009年05月01日まで	1598	1133	70%

日頃は、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
お住まいの地域の住みやすさ、地域への愛着について、県民の皆さまの満足意識やご意見をお聞かせいただき、県政運営に活かしていきたいと考えています。  
ぜひ率直なご意見をいただきますようお願いいたします。

### ■ 添付ファイル

- [Q2、Q3、Q6、Q7のアンケート選択肢の説明はこちらをご覧ください](#)

### ■ Q1 地域の住みやすさ

あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。

合計	1133	
とても住みやすい	200	17.7%
どちらかといえば住みやすい	616	54.4%
どちらともいえない	175	15.4%
どちらかといえば住みにくい	119	10.5%
住みにくい	23	2.0%

### ■ Q2 住みやすいと感じる点

Q1で「とても住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお聞きします。  
「どちらともいえない」と答えた方はQ5へ、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方はQ3へお進みください。

現在お住まいの地域が住みやすいと感じになるのは、どの部分に満足されているからですか。  
3つまで選んでください。

(選択肢の説明については、添付ファイルをご覧ください。)

合計	816	
人権尊重	21	2.6%
生涯学習	48	5.9%
学校教育	54	6.6%
青少年の健全育成	25	3.1%
高等教育機関	3	0.4%
市民活動	34	4.2%
文化・芸術	24	2.9%

歴史・文化遺産	47	5.8%
スポーツ・レクリエーション	45	5.5%
地域での防災の取組	37	4.5%
災害対策	6	0.7%
交通安全	27	3.3%
防犯	105	12.9%
食の安全	65	8.0%
高齢者・障害者の社会参加	12	1.5%
保健予防体制	8	1.0%
子育て環境	125	15.3%
医療体制	118	14.5%
福祉サービス	27	3.3%
自然環境との共生	255	31.2%
希少な生物	4	0.5%
ごみの減量	16	2.0%
きれいな空気	249	30.5%
川や海の水質	74	9.1%
地球温暖化防止	4	0.5%
農林水産業の振興	11	1.3%
産業振興	9	1.1%
観光	25	3.1%
技術開発	2	0.2%
地域商工業	33	4.0%
雇用	18	2.2%
職業能力開発	0	0.0%
国際化	4	0.5%
広域交流・連携	14	1.7%
情報ネットワーク	23	2.8%
高速交通網	86	10.5%
道路の整備	78	9.6%
公共交通機関	182	22.3%
港の整備	4	0.5%
快適なまちづくり	69	8.5%

農山漁村づくり	7	8.9%
過疎地域等の振興	0	0.0%
エネルギー	1	0.1%
飲料水の供給	85	10.4%
その他	50	6.1%

### ■ Q3 住みにくいと感ずる点

Q1で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお聞きします。  
 現在お住まいの地域が住みにくいと感ずる点、どの部分が不足しているからですか。  
 3つまで選んでください。  
 (選択肢の説明については、添付ファイルをご覧ください。)

合計	142	
人権尊重	8	5.6%
生涯学習	6	4.2%
学校教育	10	7.0%
青少年の健全育成	1	0.7%
高等教育機関	11	7.7%
市民活動	2	1.4%
文化・芸術	14	9.9%
歴史・文化遺産	1	0.7%
スポーツ・レクリエーション	4	2.8%
地域での防災の取組	0	0.0%
災害対策	6	4.2%
交通安全	21	14.8%
防犯	10	7.0%
食の安全	3	2.1%
高齢者・障害者の社会参加	5	3.5%
保健予防体制	1	0.7%
子育て環境	13	9.2%
医療体制	46	32.4%
福祉サービス	7	4.9%
自然環境との共生	3	2.1%
希少な生物	0	0.0%
ごみの減量	3	2.1%
きれいな空気	13	9.2%

川や海の水質	5	3.5%
地球温暖化防止	0	0.0%
農林水産業の振興	1	0.7%
産業振興	7	4.9%
観光	2	1.4%
技術開発	1	0.7%
地域商工業	8	5.6%
雇用	20	14.1%
職業能力開発	2	1.4%
国際化	1	0.7%
広域交流・連携	1	0.7%
情報ネットワーク	1	0.7%
高速交通網	6	4.2%
道路の整備	21	14.8%
公共交通機関	70	49.3%
港の整備	0	0.0%
快適なまちづくり	15	10.6%
農山漁村づくり	0	0.0%
過疎地域等の振興	6	4.2%
エネルギー	1	0.7%
飲料水の供給	0	0.0%
その他	11	7.7%

## ■ Q5 地域への愛着

あなたは、現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。

合計	1133	
持っている	394	34.8%
どちらかといえば持っている	443	39.1%
どちらともいえない	228	20.1%
どちらかといえば持っていない	47	4.1%
持っていない	21	1.9%

## ■ Q6 愛着を持っていると感じる点

Q5で「持っている」「どちらかといえば持っている」と答えた方にお聞きします。

「どちらともいえない」と答えた方はQ9へ、「どちらかといえば持っていない」「持っていない」と答えた方はQ7へお進みください。

現在お住まいの地域に愛着を持っていると感じになるのは、どの項目によるものですか。

あてはまるもの全てを選んでください。

(選択肢の説明については、添付ファイルをご覧ください。)

合計	837	
人権尊重	39	4.7%
生涯学習	49	5.9%
学校教育	66	7.9%
青少年の健全育成	36	4.3%
高等教育機関	4	0.5%
市民活動	70	8.4%
文化・芸術	60	7.2%
歴史・文化遺産	125	14.9%
スポーツ・レクリエーション	78	9.3%
地域での防災の取組	35	4.2%
災害対策	17	2.0%
交通安全	33	3.9%
防犯	90	10.8%
食の安全	109	13.0%
高齢者・障害者の社会参加	27	3.2%
保健予防体制	17	2.0%
子育て環境	137	16.4%
医療体制	78	9.3%
福祉サービス	42	5.0%
自然環境との共生	296	35.4%
希少な生物	23	2.7%
ごみの減量	34	4.1%
きれいな空気	304	36.3%
川や海の水質	141	16.8%
地球温暖化防止	7	0.8%
農林水産業の振興	22	2.6%
産業振興	14	1.7%
観光	71	8.5%
技術開発	3	0.4%

地域商工業	23	2.7%
雇用	16	1.9%
職業能力開発	2	0.2%
国際化	6	0.7%
広域交流・連携	27	3.2%
情報ネットワーク	27	3.2%
高速交通網	77	9.2%
道路の整備	66	7.9%
公共交通機関	99	11.8%
港の整備	3	0.4%
快適なまちづくり	102	12.2%
農山漁村づくり	18	2.2%
過疎地域等の振興	5	0.6%
エネルギー	5	0.6%
飲料水の供給	97	11.6%
その他	98	11.7%

## ■ Q7 愛着を持ってないと感じる点

Q5で「どちらかといえば持っていない」「持っていない」と答えた方にお聞きします。現在お住まいの地域に愛着を持ってないと感じになるのは、どの項目によるものですか。あてはまるもの全てを選んでください。（選択肢の説明については、添付ファイルをご覧ください。）

合計	68	
人権尊重	10	14.7%
生涯学習	8	11.8%
学校教育	13	19.1%
青少年の健全育成	4	5.9%
高等教育機関	6	8.8%
市民活動	4	5.9%
文化・芸術	6	8.8%
歴史・文化遺産	2	2.9%
スポーツ・レクリエーション	6	8.8%
地域での防災の取組	2	2.9%
災害対策	5	7.4%
交通安全	12	17.6%

防犯	8	11.8%
食の安全	2	2.9%
高齢者・障害者の社会参加	3	4.4%
保健予防体制	5	7.4%
子育て環境	13	19.1%
医療体制	18	26.5%
福祉サービス	4	5.9%
自然環境との共生	4	5.9%
希少な生物	2	2.9%
ごみの減量	6	8.8%
きれいな空気	15	22.1%
川や海の水質	10	14.7%
地球温暖化防止	3	4.4%
農林水産業の振興	3	4.4%
産業振興	8	11.8%
観光	5	7.4%
技術開発	2	2.9%
地域商工業	7	10.3%
雇用	10	14.7%
職業能力開発	4	5.9%
国際化	3	4.4%
広域交流・連携	8	11.8%
情報ネットワーク	2	2.9%
高速交通網	6	8.8%
道路の整備	9	13.2%
公共交通機関	21	30.9%
港の整備	1	1.5%
快適なまちづくり	23	33.8%
農山漁村づくり	1	1.5%
過疎地域等の振興	3	4.4%
エネルギー	1	1.5%
飲料水の供給	2	2.9%
その他	15	22.1%

## ■ Q9 今後の地域での居住について

あなたは今後も現在お住まいの地域に住みたいと思いますか。

合計	1133	
今の地域に住み続けたい	726	64.1%
三重県内の別の地域に住みたい	104	9.2%
県外に住みたい	60	5.3%
どちらでもよい、わからない	243	21.4%

## ■ Q10 「美（うま）し国おこし・三重」の認知度

三重県では、2009年（平成21年）から2014年（平成26年）までの6年間にわたって、「美（うま）し国おこし・三重」の取組を展開していきます。

あなたは、「美（うま）し国おこし・三重」の取組をどの程度ご存じですか。

合計	1133	
取組の内容を知っている	271	23.9%
あまり知らない	678	59.8%
知らない	184	16.2%



## アンケート項目の説明

項 目	説 明
1. 人権尊重	性別、出身地、障害の有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が十分発揮できること。
2. 生涯学習	誰もが興味や必要に応じて、図書館や博物館、講座などで学ぶことができる環境が整っていること。
3. 学校教育	児童生徒一人ひとりに基礎・基本の学力が定着し、自ら学び、考え、判断する力が身に付いていること。
4. 青少年の健全育成	青少年が犯罪や非行に走ることなく、自立性や社会性を身につけ健全に育っていること。
5. 高等教育機関	県内の大学など高等教育機関において、魅力ある教育や研究が行われていること。
6. 市民活動	NPOやボランティアなどの活動、自治会やPTA等の地域活動など、様々な社会活動に参加しやすいこと。
7. 文化・芸術	音楽、美術などの様々な芸術や文化と直接触れ親しめる機会が多いこと。
8. 歴史・文化遺産	文化財や伝統行事などの様々な文化遺産が守られ、地域づくり等に積極的に活用されていること。
9. スポーツ・レクリエーション	スポーツやレクリエーションを楽しむための機会や施設が充実していること。
10. 地域での防災の取組	地震・津波、風水害などの自然災害に対して地域での自主的な備えができていること。
11. 災害対策	洪水や高潮、土砂災害などに備える堤防や砂防ダムなどの施設が整備され、自然災害による被害を最小限におさえられること。
12. 交通安全	交通ルールが守られ、誰もが安全にかつ安心して道路を通行できる環境になっていること。
13. 防犯	犯罪などに対する不安を感じることなく、安心して生活ができること。
14. 食の安全	安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。
15. 高齢者、障害者の社会参加	高齢者や障害者が就労や趣味の集いなど、様々な社会参加ができること。
16. 保健予防体制	感染症の発生、まん延や生活習慣病の不安を感じることなく生活できること。
17. 子育て環境	子どもを安心して産み育てられる環境が充実していること。
18. 医療体制	病状に応じて、身近なところで適切な医療が受けられること。
19. 福祉サービス	高齢者・障害者の介護、在宅支援などの福祉サービスが利用しやすいこと。
20. 自然環境との共生	身近に触れあうことのできる豊かな自然環境があること。
21. 希少な生物	希少な野生動物や植物が保護されていること。
22. ごみの減量	職場や家庭から出るゴミが少ないこと。

項 目	説 明
23. きれいな空気	空気が汚染されておらず、きれいであること。
24. 川や海の水質	川や海などの水が汚染されておらず、きれいであること。
25. 地球温暖化防止	温暖化の原因となる二酸化炭素などのガスについて、企業や家庭からの排出がおさえられたり、森林による吸収が高められていること。
26. 農林水産業の振興	農林水産業の担い手が育ち、産業として活発であること。
27. 産業振興	新しい分野の産業や企業の育成、先端企業の誘致などにより県内産業が活性化していること。
28. 観光	地域の名勝や特産品などの観光資源に魅力を感じてたくさんの人が三重県を訪れること。
29. 技術開発	県内産業の発展のため、様々な分野での研究開発が進んでいること。
30. 地域商工業	地域の中小企業や商店街が活気に満ちていること。
31. 雇用	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていること。
32. 職業能力開発	社会の変化に対応した職業能力を身につける機会が確保されていること。
33. 国際化	様々な国の人々と互いに理解し合いながら、交流、共生できること。
34. 広域交流・連携	環境や防災など近隣府県等と共同で取り組むことが効果的な分野において、県境を越えた様々な交流・連携が行われていること。
35. 情報ネットワーク	ケーブルテレビ網やインターネットなどを利用して様々な情報を得ることができること。
36. 高速交通網	空港、新幹線、高速道路などの高速交通機関が利用しやすくなり、遠くの地域へ短時間で移動できること。
37. 道路の整備	道路が整備され、快適に移動できること。
38. 公共交通機関	バス、鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと。
39. 港の整備	港が整備され、多くの船や人々が利用していること。
40. 快適なまちづくり	段差のない公共的施設、公園や歩道など、快適で暮らしやすいまちづくりが行われていること。
41. 農山漁村づくり	農山漁村の生活基盤が整備され、住民や訪れた人々にとって魅力がある地域になっていること。
42. 過疎地域等の振興	過疎地域や離島等が活性化や地域おこしの取組を通じて魅力のある地域になっていること。
43. エネルギー	省エネルギーの意識や、太陽光発電の普及など地球にやさしいエネルギー対策が進んでいること。
44. 飲料水の供給	安心して飲める水が安定的に供給されること。